平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
国語	国語総合	4	1	新訂国語総合 現代文編・古典編 （第一学習社）	・必携完成古典文法（尚文出版） ・漢文必携（桐原書店） ・新国語総合ガイド（京都書房） ・新常用漢字必携パーフェクトクリア（尚文出版） ・完成日本文学史ノート（京都書房）

到達目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・音読や朗読、暗唱等によって、文体感覚を養い、理解を深める。 ・複数の作品を読み比べることで、理解を一層深める。 ・書籍や新聞から関連教材を補い、読書の量と幅を拡げる。 ・文章表現力を養うために、作文指導を計画的に行う。 ・読書、小テストの準備、課題など家庭学習を積極的に促す。 ・文法や句法の演習を効果的に取り入れ、理解の定着をはかる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	新しい地図を描け（中沢新一） 羅生門（芥川龍之介） 児のそら寝（宇治拾遺物語） 竹取物語　かぐや姫のおひたち・かぐや姫のなげき 文法：動詞 中間考査 水の東西（山崎正和） 語と意味（樺島忠夫） 甃のうへ（三好達治）・I was born（吉野弘） 伊勢物語　芥川・筒井筒 漢文入門 文法：形容詞、形容動詞 期末考査	・随想的な評論の読み方を習得する。 ・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・古文に親しみを持ち、話の面白さを理解する。 ・昔話としてなじみのある作品を読み、古文に親しむ。話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。歴史的仮名遣い、文語と口語の違い、品詞の種類、活用、係り結び、用言の活用について理解する。古語辞典の引き方に慣れる。 ・二項対立的な評論の読解方法を習得する。 ・評論の読解方法を習得する。 ・詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・歌物語を読んで、古文に親しむ。和歌を味読し、修辞技巧を理解する。助動詞、助詞、敬語について理解する。 ・漢文に親しみを持つ。漢文の構造、漢字・漢語の意味・用法、訓読・書き下し文のきまりを理解する。漢和辞典の引き方に慣れる。	定期考査 出席状況 授業の取り組み 宿題・提出物 調査・発表 朗読・暗唱 小テスト
8月 9月 10月   11月 12月

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
国語	現代文	3	2年	現代文（数研出版）	・漢字と語句の総合演習（桐原書店）・現代文 解法のテクニック（啓隆社）・新訂総合国語便覧（第一学習社）・流れと演習新日本文学史（京都書房）

到達目標	近代以降の様々な文章を読むことを通して語彙や漢字といった基礎学力や論理構成を理解する力を養い、さらに複雑な文章を読みこなす力を身につける。また、それらの文章を読むことを通してさまざまな角度から物を見、感じ、考える、表現することの大切さに気づき、実践できるようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・副読本によって　①漢字と語句の演習および小テスト　②短い文章による読解演習を行う。 ・教科書によって　①評論文では論理的な表現の特徴について学び、小論文の作成によって論理的な表現力を養う。 ②小説では人間の心理や行動のさまざまな在り方を掘り下げて考えるとともに豊かな表現性を作品から学びとる。 ③韻文では言葉の豊かな働きや表現の多様性について学ぶ。 ・いずれの学習においても暗記や知識偏重になることを避け、包括的な学力の伸長を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	これを、～とする（佐藤雅彦）	・随想の読み方を習得する ・自分とは異なる価値観のとらえ方について考える。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物・小テスト
5月	山月記（中島敦）	・すぐれた短編小説の持つ緊密な構成や文体を読み味わう。 ・主人公の性格や生き方を通して、自己の問題に関連させながら、人間という存在について思索する姿勢を養う。	
6月	手の変幻（清岡卓行） 三月の風（阿部昭）	・評論の読み方に習熟する。 ・既成概念にとらわれない考え方を楽しみ、思索する力を養う。 ・会話文のない小説の文体から登場人物それぞれの心理を読み取る。	
7月	物語と人間（河合隼雄） 小論文作成 詩（島崎藤村、宮澤賢治、萩原朔太郎、田村隆一）	・身近なテーマについて論理的に深く掘り下げる方法について学ぶ。 ・身近な問題をテーマにして小論文を作成する。 ・詩歌の表現上の特色を理解し、鑑賞力を高める。 ・近代の詩歌の文学史的意義を学ぶ	
8月	夏期課題（副読本他）		
9月	こころ（夏目漱石）	・長編小説を読み味わう力を養う。 ・すぐれた小説を読んで、登場人物の内面描写や展開について深く味わう。 ・人間の生き方について深く考える。	
10月	感想文	・小説を熟読し、自己の内面をみつめながら感想文として表現する。 ・修学旅行の異文化体験を文章として表現する。	
11月	修学旅行体験文・感想文	・表現のおもしろさや奥深さを理解し、鑑賞する力を養う。	
12月	短歌・俳句（正岡子規、与謝野晶子他）	・近代の詩の文学史的意義を学ぶ。	
1月	向こう側の幸せ（よしもとばなな）	・現代的な表現の文体から「生と死」という普遍的なテーマを読み取る。 ・「向こう側の幸せ」という題名の意味について考える。	
2月	グループ討議	・「幸せ」についてグループに分かれて意見を述べ合う。	
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
国語	古典	3	2年	精選古典	これからの古典文法（尚文出版）漢文句法・演習ドリル（旺文社）新訂総合国語便覧（第一学習社）新日本文学史（京都書房）新成古典（尚文出版）

到達目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、また古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。 日本独自の文化や大陸の影響を受けながら熟成してきた言語や文化を尊重する態度を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・古文・漢文を読むための古典文法や漢文句法、古語や漢文特有の表現を理解し、小テストやドリル演習によって習得する。 ・まとまった長さの古文、漢文を精読することによって作品の背景にある価値観や人生観を読み取る。 ・各時代の和歌や漢文を読み、理解することで各時代のものの感じ方や表現形式を学ぶ一方、時代や国を超えた人間の感情や人生の在り方の普遍性を感じ取る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	十訓抄 小話 徒然草 唐詩 枕草子	・比較的短い説話を読み、古文に親しみを持たせる・ ・１年生で学習した文法事項を復習する。 ・比較的短い漢文を読み、１年生で学習した漢文句法を復習するとともに漢文らしい話の展開を楽しむ。 ・随筆を読んで、人間存在についての作者の思想を読み取る。 ・唐代の詩の形式の決まりや代表的詩人についての知識を身につけ、鑑賞する力を養う。 ・随筆を読んで、平安時代の美意識や自然観を読み取り、それらを表現する古語の知識を身につける。 ・平安時代の有職故実についての知識を身につける。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	問題集等 大鏡 漢文句法演習ドリル 更級日記 史記「項羽と劉邦」 「四面楚歌」	・さまざまな出題形式に習熟する。 ・１学期に学習した古語、句法などについて復習する。 ・歴史物語の特色を理解する。 ・話の展開に即して、登場人物の心情と行動を読み取る。 ・敬語、助動詞について理解する。 ・疑問、反語の句法について習熟する。 ・日記文学の特色を理解する。 ・当時の貴族社会における物語の位置づけを理解する。 ・漢文の長編を読む楽しさを知る。 ・時代や国を超えた人間の心情を理解する。	
1月 2月 3月	源氏物語 和歌	・日本を代表する物語を読み、古語の美しさや平安時代の人々の人生観を学ぶ。 ・敬語、助動詞について理解する。 ・和歌の修辞法についての知識を深め、三十一文字で表現される内容の奥深さを味わう力をつける。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
国語	現代文	3	3	探求　現代文（桐原書店）	新国語総合ガイド（京都書房） 頻出漢字マスター（尚文出版） センター試験演習　現代文 （いいずな書店）

到達目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、物の見方、感じ方、考え方を深め、さらにその周辺の文章を合わせ読み、感じたこと、考えたことを表現することによって人生を豊かにする態度を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	以下の能力の獲得を目指す。 関心・意欲・態度　国語や言語文化に関する関心を高め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現し、理解しようとする。 話す・聞く能力　自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて筋道を立てて話し、的確に聞き取る。 書く能力　自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて筋道を立てて文章を書く。 読む能力　目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、発展的読書に親しむ。 知識・理解　表現と理解に役立てるための音声・語句・漢字等を理解し、知識を身に付ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月	評論　アイデンティティーとは 評論　「である」ことと「する」こと	・評論の読み方に習熟する。 ・評論の組み立てや用語を理解する。 ・定番の硬質な評論を読むことで評論を読むための土台をしっかりさせる。 ・難度の高い評論を読みこなす。	定期考査 出席状況 授業への取り組み
6月 7月	小説　檸檬 評論　市民社会化する家族 （問題集他）	・「檸檬」を読んで「自分」とは何なのか、人間の「心」の不可思議さについて考える。 ・短編小説の読み方に習熟する。 ・社会や科学と人間との関わりから、現代における個人の在り方を考える。	
8月	（問題集他）		
9月 10月	評論　日本文化史観 小説　おくま嘘歌	・日本文化についての造詣を深める。 ・筆者がどのように論理を展開しているか、論理の展開のしかたを把握する。 ・小説を読み、味わうことの楽しみを実感させる。	
11月 12月	詩　　数編 評論　ファンタジー・ワールドの誕生	・散文とは異なる詩のおもしろさを積極的に味わう。 ・評論を読む楽しさを知る。。 ・自分自身の物事に対する理解の枠組みが覆され、その読書体験を境に世界が新しい顔を見せる驚きを実感する。。	
1月	評論　こころとことわり	・古典や古典講読で学んだ古典作品への理解を踏まえ、難度の高い評論文に挑戦する。 ・文化の規範性と、言語や概念との関係について考える。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
国語	古典	3	3	精選古典（東京書籍）	高校生の古典文法（京都書房） 新国語総合ガイド（京都書房） センター試験演習古典（いいずな書店） 重要古文単語315（桐原） 重要古文単語315読解ノート（桐原）

到達目標	古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。 古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにする。 古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	枕草子	・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。	定期考査 出席状況
5月	古代の史話	・やや長い文章を読んで話の内容を理解し、漢文に親しみを持つ。	授業への取り組み 宿題・提出物
6月	紫式部日記 蜻蛉日記	・日記文学の特質を理解する。 ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。	
7月	大鏡	・歴史物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	
8月	長恨歌	・『源氏物語』に入る前に日本文学に大きな影響を与えた白楽天の詩を理解し、味わう。	定期考査 出席状況
9月	源氏物語	・日本を代表する物語を読み、登場人物の行動や心情を的確に読み取る力を養う。	授業への取り組み 宿題・提出物
10月		・『源氏物語』の全体像と物語文学の特質を理解する。	
11月	無名抄	・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。	
12月	史記	・漢文の内容を理解し、話のおもしろさを味わう。	
1月	無名草子	・人物評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。	定期考査 出席状況
2月	漢詩の鑑賞	・漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確にとらえる。	授業への取り組み 宿題・提出物

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
国語	古典講読	2	3	高等学校古典講読（三省堂）	新国語総合ガイド（京都書房） 高校生の古典文法（京都書房） 私大マーク対応古文過去問題集（桐原書店）

到達目標	古典としての古文を読むことによって、わが国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	①　古典に用いられている語句の意味、用法を理解して、その特有の表現を味わうこと。 ②　文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考えること。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	大鏡	歴史物語を読み、平安時代の宮廷生活について理解を深める。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	大鏡	歴史物語を読み、平安時代の宮廷生活について理解を深める。	
6月	枕草子	日記・回想章段を読み、宮廷生活の一端にふれる。	
7月	枕草子	日記・回想章段を読み、宮廷生活の一端にふれる。	
8月	桐壺	「源氏物語」の全体像を理解させる。	
9月	夕顔・若紫	若き日の源氏について理解させる	
１０月	葵　　車争い　物の怪	事態の展開と、物の怪について当時の人々の考え方を理解させる。	
１１月	柏木	権勢を極めた源氏と若い妻を巡る物語について理解させる。	
１２月	光源氏の子どもたち　浮舟	宇治十帖の世界を理解させる。	
1月	夢の浮き橋	「源氏物語」の全体像を理解させる。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	世界史Ｂ	２	１	詳説世界史（山川出版社）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）

到達目標	近現代の世界史の流れを理解させ、現代世界の特質と課題を、広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	近現代の世界史の大きな枠組みと流れについて関心を高める。 世界の文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察する。 近現代の世界史についての基本的事項を理解し、その知識を身につけるとともに、多文化共生社会における良識ある市民性を養う。 写真など諸資料を、歴史的視点にたって活用し考察できる能力を身に付ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
４月 ５月 ６月 ７月	海域世界の発展 アジア諸地域の繁栄	・諸地域世界の特質と東西世界の交流について基本事項を知り、世界の一体化への条件と道筋を考察する。 ・明、清王朝の成立過程と特質についての基本事項を理解し、中国歴代王朝のアジアにおける影響力を考察する。	定期考査、 出席状況、 授業への取り組み、 宿題、提出物、 レポート、発表等
８月 ９月 10月 11月 12月	大航海時代 近世のヨーロッパ	・ヨーロッパの大航海時代以降の基本的事項を知り、世界の一体化の過程を考察する。 ・主権国家の形成、宗教改革、啓蒙専制君主の出現を通して、近代ヨーロッパ社会の幕開けを理解し、考察する。	
１月 ２月 ３月	欧米における国民国家の形成	・18,19 世紀の欧米の動きを知り、国民国家形成の過程、その特質、現代世界への影響を考察する。 ・産業革命、アメリカ独立、フランス革命の基本事項をふまえ、その世界史的意義を考察する。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	地理A	2	1	高等学校新地理A　（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	地理資料コンプリート （帝国書院）

到達目標	現代世界の地理的な諸問題について、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・　作業を通じて地球儀と地図の違いに気づかせ、目的に適した地図を用いなければならないことを考察させる。 ・　地形については地形図の作業をおこなうことによって種々の地形の特徴を理解させ、地形図の読図に慣れさせる。 ・　世界の諸地域について、資料集の写真などを用いて文化の違いを理解させる。その際に２年次の世界史の内容も意識し、その基礎的な学習となるようにする。 ・　白地図の作業を数多く行うことによって、地図帳で調べることを習慣化し、自ら調べ考察することを身につけさせる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月	球面上の世界と地域構成 結びつく現代世界	・　地球表面の大陸と海洋の分布を理解する。 ・　緯度・経度の概念と，球面上での位置関係を正しく理解する。 ・　地球儀と地図の違いを理解し，地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係・方位を正しく理解する。 ・　様々な世界地図の特徴と用途について理解する。 ・　時差の計算方法と，世界の時刻のしくみを正しく理解する。 ・　国家の領域を正しくとらえるとともに、地域区分の概念を理解する。 ・　国家間の結合の変化や現代世界の経済機構をとらえるとともに，国連の役割を理解する。 ・　世界の交通網に関する資料を通して，世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考察する。 ・　貿易に関する資料を通して，世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
6月 7月 8月	人間生活をとり巻く環境	・　人々の生活・文化は自然環境と社会環境の影響を受けることを理解する。 ・　世界の諸地域の自然環境を形成する地形を，生活・文化と関連付けて考察する。 ・　世界の諸地域の自然環境を形成する気候を，生活・文化と関連付けて考察する。 ・　世界の諸地域の社会環境を形成する言語や宗教などを，生活・文化と関連付けて考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
9月 ・ 10月 11月 12月	世界の諸地域の生活 文化	・　中国・東南アジア・インドの人々東南アジアの人々のそれぞれの生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 ・　中央アジア・西アジア、アフリカ、ヨーロッパのそれぞれの人々の生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 ・　アメリカ合衆国、ラテンアメリカのそれぞれの人々の生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
1月 2月 3月	地球的課題と私たち	・　世界の人口問題を，先進国と発展途上国の事例を通して追究し，解決への取り組みを考察する。 ・　世界の食料問題を，食料供給のかたよりを通して追究し，解決への取り組みを考察する。 ・　世界の都市・居住問題を，先進国と発展途上国の事例を通して追究し，解決への取り組みを考察する。 ・　世界の資源・エネルギー問題を，その利用と不均衡の問題を通して追究し，解決への取り組みを考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	世界史Ｂ	２	２	世界史Ｂ（東京書籍）	ニューステージ世界史詳覧

到達目標	近現代の世界史の流れを理解させ、現代世界の特質と課題を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	近現代の世界史の大きな枠組みと流れについて関心を高める。 世界の文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察する。 近現代の世界史についての基本的事項を理解し、その知識を身につける。 写真、映像など諸資料を活用する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
４月 ５月 ６月 ７月	産業資本主義の発展と帝国主義 アジア諸地域の近代	・19 世紀の欧米の動きを知り、国民国家の再編と第２次産業革命、植民地獲得競争の過程、帝国主義の特質、現代世界への影響を考察する。 欧米の進出をうけて、近代化への対応をせまられるアジア諸地域の動向と変化を考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物 レポート・発表等
８月 ９月 10 月 11 月 12 月	２つの世界大戦の時代 第二次大戦後の世界	・帝国主義列強の覇権争いと２つの大戦を経て、ソ連、アメリカの二大超大国の冷戦に至る２０世紀を振り返る。 ・現代世界の諸問題の、歴史的経緯を理解する。	
１月 ２月 ３月	君たちの時代へ	・市場経済の拡大に代表されるグローバル時代とその諸問題をとおして、これからの社会における課題を歴史的に考察する。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	日本史Ｂ	２	２	詳説日本史改訂版（山川出版）	最新日本史図表（第一学習社）

到達目標	原始から中世に至る我が国の歴史の展開を，東アジア全体の視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって，歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・　授業への主体的取り組みを重視する。特にノート・プリント作成・課題提出など日頃の活動を通じて地域区分・時代区分などの歴史認識の方法を身につける。 ・　通史理解を常に意識しつつ、政治・経済・社会・文化を関連させ、各時代を概観できるように工夫する。 ・　学習内容の確実な定着を図るために、問題演習やレポート提出を定期的に実施する。 ・　視聴覚教材などを効果的に利用する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	第１章 日本文化のあけぼの		
	１文化のはじまり	・旧石器時代・縄文時代の社会と文化	定期考査
	２農耕社会の成立	・農耕社会の成立とそれに伴う社会の変化を弥生時代中心に考察	
5月	３古墳とヤマト政権	・古墳文化の成立と国家の成立過程を考察	出席状況
		・古墳文化の渡来人との関わり	
			授業への取り組み
6月			
	第２章　律令国家の形成	・継体朝の成立から仏教伝播の過程及び推古朝の成立	宿題・提出物
	１飛鳥の朝廷	・飛鳥文化	
	２律令国家の成立	・大化改新	
		・壬申の乱	
7月		・天武朝の成立過程	
		・白鳳文化	
		・東アジアの変化と遣隋使	
		・律令体制	
8月	３平城京の時代	・奈良時代の政争と社会	
9月		・遣唐使	
	４天平文化	・鎮護国家と国家仏教、記紀・風土記など	
	５平安朝廷の形成	・桓武～嵯峨天皇の時代	
	第３章 貴族政治と国風文化		
10月	１摂関政治	・摂関政治の成立と国際社会の変化	
	２国風文化	・国風文化	
	３荘園と武士	・荘園の発達と武士の成長	
		・源氏の成長	
	コラム	日本列島の地域的差異	
	第４章　中世社会の成立	・院政・保元平治の乱平氏政権	
11月	１院政と平氏の台頭	・院政期の文化	
	２鎌倉幕府の成立	・治承寿永の乱、鎌倉幕府の成立	
12月		・朝廷と幕府	
	３武士の社会	・北条氏の台頭、承久の乱、執権政治	
		・武士の生活、武士の土地支配	
1月	４蒙古襲来と幕府の衰退	・蒙古襲来	
		・蒙古襲来後の政治	
2月		・幕府の衰退	
	５鎌倉文化	・鎌倉仏教	
		・中世文学のおこり	
3月	６室町幕府の成立		

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	世界史Ｂ α	5のうち3	3	詳説世界史（山川出版社）	ニューステージ世界史詳覧

到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、世界の文化の多様性と現代世界の特質を、広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・　世界の歴史の大きな枠組みと流れについて、関心を高める。 ・　世界の文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察できる。 ・　諸資料を集め、有用な情報の収集と、社会科学的な観点からの情報選択ができる。 ・　世界の歴史についての基本的事項を理解し、その知識を身に付ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	オリエント・地中海の世界 ヨーロッパ世界の形成と発展 近代ヨーロッパの起こり	・　西アジア世界と地中海世界の基本事項を知り、ギリシア・ローマの文明の特質と後世への影響を考察する。 ・　地中海文明の遺産を引き継ぎつつ、キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界が成立したことを知り、その特質を考察する。 ・　大航海時代・宗教改革・ルネサンスを経て、近代ヨーロッパの形成とその特質について、考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月 1月	欧米近代社会の発展 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 現代の世界	・　主権国家体制の成立と国際関係、資本主義的世界体制の成立の契機について、考察する。 ・　産業革命、アメリカ・フランス革命を契機に、本格的に近代社会が成立し、近代国民国家が形成されたことを知る。 ・　欧米列強のアジア・アフリカ植民地化の進展とそれに対抗するアジア諸国の動きを知る。 ・　帝国主義時代のヨーロッパ列強の世界分割とアジア・アフリカのナショナリズムの展開について、多角的に考察する。 ・　第一次大戦の原因、性格、影響について基本的知識を身に付ける。 ・　大戦間の世界情勢について、世界大恐慌やファシズムの勃興など第二次大戦へとつながった問題点を含め、多角的に考察する。 ・　第二次大戦の勃発と東アジアでの展開について、外交関係や国内政治過程にも目を配りながら、基本的知識を身に付ける。 ・　米ソ冷戦とその世界的影響について考察する。 ・　アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力の形成について、その動きを知る。 ・　現代世界の諸問題について、関心を深める。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	世界史Ｂβ	５のうち	3	詳説世界史（山川出版社）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）

到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、世界の文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・　世界の歴史の大きな枠組みと流れに関する関心を高める。 ・　世界の文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察できる。 ・　諸資料を集め、有用な情報の収集と選択ができる。 ・　世界の歴史についての基本的事項を理解し、その知識を身に付ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	先史の世界 アジア・アメリカの文明 東アジア世界の形成と発展 内陸アジア世界の変遷	・　人類の起源、農耕牧畜の始まりと都市文明の生起について知る。 ・　古代インド、中国古代文明、アメリカ古代文明の形成過程とその特質を考察する。 ・　東アジア世界の政治や文化の特質について理解する。 ・　東アジア世界が、内陸アジア世界との密接な関係によって形成されたことを知る。 ・　遊牧民の生活文化と軍事的特質を知り、それらが世界史に与えた影響を考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	イスラム世界の形成と発展 アジア諸地域の繁栄 諸地域の交流	・　イスラム教の成立に関する基本的事項を身につけ、イスラム世界の形成と発展、イスラム文明の特徴とヨーロッパに対する影響、イラン・トルコ・モンゴル・アフリカ・インドへの拡大について、歴史的意義を考察する。 ・　16 世紀から 18 世紀のアジアの諸帝国（明清帝国、ムガル帝国、サファヴィー朝、オスマン帝国）の特質と、これら諸地域を結ぶ海域世界の貿易の展開を知る。 ・　世界ネットワーク論、近代世界システム論を踏まえ、諸地域世界の交流と、世界の一体化の過程を考察する。	
1月 2月 3月	世界史の扉	・身近なものや日常生活に関わる事柄を通して、現代の文化が歴史的起源をもち、歴史に規定されつつ成立したことを知る。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	日本史Ｂα	５の内（３）	３	詳説日本史（山川出版）	最新日本史図表（第一学習社）

到達目標	中世から近現代に至る我が国の歴史の展開を，世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって，歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	・授業への主体的な取り組みを重視する ・政治・外交・社会経済・文化を関連させ、各時代を概観できるよう工夫する ・学習内容の確実な定着をはかるため、問題演習を定期的に実施する ・視聴覚教材などを効果的に利用する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	第５章　武家社会の成長		
	１室町幕府の成立	・鎌倉幕府の滅亡と建武の新政・南北朝の動乱を経て室町幕府が成立した過程	定期考査
	２幕府の衰退と庶民の台頭	・応仁の乱に至る幕府権力の衰退と室町時代の産業や惣村に見られる庶民の台頭と一味同	
5月	３室町文化	心をキーワードとする室町文化	出席状況
	４戦国大名の登場	・応仁の乱以後の戦国期の下剋上を理解する	
			授業への取り組み
6月	第６章　幕藩体制の確立		
	１織豊政権	・ヨーロッパ人の来航と織田信長・豊臣秀吉の登場による中世社会から近世社会への変革	宿題・提出物
	２桃山文化	・秀吉没後の江戸幕府成立の過程	
	３幕藩体制の成立		
7月			
	第７章　幕藩体制の展開	・家光による幕藩体制の確立、農民・町人への政策、身分制度、宗教政策の理解	
	１幕政の安定	・江戸前期の経済	
	２経済の発展		
8月	３元禄文化	・上方中心の江戸前半の文化	
	第８章　幕藩体制の動揺		
9月	１幕政の改革	・幕府財政再建のための享保・寛政の改革	
	２幕府の衰退	・天保の改革や列強の接近、雄藩のおこり	
	３化政文化	・江戸中心の江戸後期の文化	
	第９章　近代国家の成立		
10月	１開国と幕末の動乱	・ペリー来航以後の幕末の動乱	
	２明治維新と富国強兵	・近代国家の誕生の過程	
	３日清・日露戦争	・日清・日露戦争と韓国併合、満州進出の過程	
	４近代産業の発展	・明治期の産業の発展	
11月	５近代文化の発達	・明治文化	
	第10章　近代日本とアジア		
	１第一次世界大戦と日本	・大正政変～原内閣の国内・国際関係	
12月	２ワシントン体制	・1920年代の協調外交と政党政治の展開	
	３恐慌の時代	・金融恐慌と昭和恐慌	
	４軍部の台頭	・満州事変以後の軍部の台頭	
	５第二次世界大戦	・太平洋戦争と戦時下の社会 （視聴覚教材の利用）	
1月	第11章 占領下の日本	・戦後史を視聴覚教材等を取り入れて理解する	
	第12章 高度成長の時代	・プリント等で概観する	
	第13章 激動する世界と日本		
2月			
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	日本史Ｂβ	5の内（2）	3	詳説日本史（山川出版）	最新日本史図表（第一学習社）

到達目標	原始から中世に至る我が国の歴史の展開を，東アジア全体の視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって，歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・授業への主体的な取り組みを重視する ・政治・外交・社会経済・文化を関連させ、各時代を概観できるよう工夫する ・学習内容の確実な定着をはかるため、問題演習を定期的に実施する ・視聴覚教材などを効果的に利用する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	第１章 日本文化のあけぼの		
	１文化のはじまり	・旧石器時代・縄文時代の社会と文化	定期考査
	２農耕社会の成立	・農耕社会の成立とそれに伴う社会の変化を弥生時代中心に考察	
5月	３古墳とヤマト政権	・古墳文化の成立と国家の成立過程を考察	出席状況
		・古墳文化の渡来人との関わり	
			授業への取り組み
6月			
	第２章　律令国家の形成	・継体朝の成立から仏教伝播の過程及び推古朝の成立	宿題・提出物
	１飛鳥の朝廷	・飛鳥文化	
	２律令国家の成立	・大化改新	
		・壬申の乱	
7月		・天武朝の成立過程	
		・白鳳文化	
		・東アジアの変化と遣隋使	
		・律令体制	
8月	３平城京の時代	・奈良時代の政争と社会	
9月		・遣唐使	
	４天平文化	・鎮護国家と国家仏教、記紀・風土記など	
	５平安朝廷の形成	・桓武～嵯峨天皇の時代	
	第３章 貴族政治と国風文化		
10月	１摂関政治	・摂関政治の成立と国際社会の変化	
	２国風文化	・国風文化	
	３荘園と武士	・荘園の発達と武士の成長	
		・源氏の成長	
	コラム	日本列島の地域的差異	
	第４章　中世社会の成立	・院政・保元平治の乱平氏政権	
11月	１院政と平氏の台頭	・院政期の文化	
	２鎌倉幕府の成立	・治承寿永の乱、鎌倉幕府の成立	
12月		・朝廷と幕府	
	３武士の社会	・北条氏の台頭、承久の乱、執権政治	
		・武士の生活、武士の土地支配	
1月	４蒙古襲来と幕府の衰退	・蒙古襲来	
		・蒙古襲来後の政治	
2月		・幕府の衰退	
	５鎌倉文化	・鎌倉仏教	
		・中世文学のおこり	
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学Ⅰ	3	1	数学Ⅰ　（東京書籍）	4STEP一数学Ⅰ＋A （数研出版） はぎとり式練習ドリル数学Ⅰ 標準編　（数研出版編集部）

到達目標	方程式と不等式，2 次関数及び図形と計量について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	授業・課題への積極的な取り組みを重視する。講義にとどまらずに問題演習に重点をおき、内容への理解を深め、問題を解く能力、考えを記述できる能力を伸ばす。同時に生徒とのやり取りを通して理解度を把握し内容の定着を図る。自宅での自主的な学習を進めることができるように適切な課題を与える。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	数と式 集合と論証	式の計算 実数 １次不等式 集合 命題と論証	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	２次関数 図形と計量	関数とグラフ ２次方程式・２次不等式 鋭角の三角比 三角比の拡張 三角比への応用	
1月 2月 3月	データの分析	データの整理と分析 データの相関	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学A	2	1	数学A　（東京書籍）	4STEP一数学Ⅰ＋A （数研出版編集部） はぎとり式練習ドリル数学A　標準編　（数研出版編集部）

到達目標	平面図形，集合と論理及び場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し，処理する能力を育てるとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	授業・課題への積極的な取り組みを重視する。講義にとどまらずに問題演習に重点をおき、内容への理解を深め、問題を解く能力、考えを記述できる能力を伸ばす。同時に生徒とのやり取りを通して理解度を把握し内容の定着を図る。自宅での自主的な学習を進めることができるように適切な課題を与える。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	場合の数と確率	場合の数	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月			
6月		確率とその基本性質	
7月		いろいろな確率	
8月	整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの互助法と不定方程式	
9月		整数の性質の活用	
10月			
11月	図形の性質	三角形の性質	
12月		円の性質	
1月		作図	
2月		空間図形	
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学Ⅱ	4	2	高等学校　数学Ⅱ(数研出版)	クリアー数学Ⅱ＋B (数研出版) はぎ取り式練習ドリル数学Ⅱ 標準編　(数研出版編集部)

到達目標	式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法・積分法の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	授業・課題への積極的な取り組みを重視する。講義にとどまらずに問題演習に重点をおき、内容への理解を深め、問題を解く能力、考えを記述できる能力を伸ばす。同時に生徒とのやり取りを通して理解度を把握し内容の定着を図る。自宅での自主的な学習を進めることができるように適切な課題を与える。問題演習における個別指導を一斉指導の合間に行うなど、丁寧な解説と問題演習を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	式と証明	３次式の展開と因数分解 二項定理 整式の割り算 分数式とその計算 恒等式	授業態度 発問評価 定期考査ごとにノート確認 ドリル式の課題プリント 授業２回につき１回の小テスト
5月	等式・不等式の証明	等式の証明 不等式の証明	定期考査
	複素数と２次方程式の解	複素数とその計算 ２次方程式の解 解と係数の関係	
	高次方程式	剰余の定理と因数定理 高次方程式	
6月	点と直線	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 ２直線の関係	
7月	円	円の方程式 円と直線 ２つの円	
	軌跡と領域	軌跡と方程式 不等式の表す領域	
8月			
9月	三角関数	角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の性質 三角関数の応用	
10月	加法定理	三角関数の加法定理 加法定理の応用	
11月	指数関数	指数の拡張 指数関数	
12月	対数関数	対数とその性質 対数関数 常用対数	
1月	微分係数と導関数	微分係数 導関数とその計算 接線の方程式	
2月	関数の値の変化	関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用	
	積分法	不定積分 定積分 定積分と図形の面積	
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学B	2	2	高等学校　数学B　(数研出版)	クリアー数学Ⅱ＋B (数研出版) はぎ取り式練習ドリル数学B 標準編　(数研出版編集部)

到達目標	数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	授業・課題への積極的な取り組みを重視する。講義にとどまらずに問題演習に重点をおき、内容への理解を深め、問題を解く能力、考えを記述できる能力を伸ばす。同時に生徒とのやり取りを通して理解度を把握し内容の定着を図る。自宅での自主的な学習を進めることができるように適切な課題を与える。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	ベクトルとその演算	ベクトル	授業態度
		ベクトルの演算	発問評価
		ベクトルの成分	ノート確認
		ベクトルの内積	課題プリント
5月	ベクトルと図形	位置ベクトル	小テスト
		ベクトルと図形への応用	定期考査
		図形のベクトルによる表示	
6月	空間のベクトル	空間の点	
7月		空間のベクトル	
8月			
9月		ベクトルの成分	
		ベクトルの内積	
10月		ベクトルの図形への応用	
		座標空間における図形	
11月	数列	数列と一般項	
		等差数列	
		等差数列の和	
12月		等比数列	
		等比数列の和	
1月		和の記号Σ	
		階差数列	
		いろいろな数列の和	
2月		漸化式	
		数学的帰納法	
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学Ⅲ	4	3	高等学校数学Ⅲ改訂版（啓林館）	アドバンス数学Ⅲ＋Ｃ四訂版（啓林館）

到達目標	極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	授業・課題への積極的な取り組みを重視する。講義にとどまらずに問題演習に重点をおき、内容への理解を深め、問題を解く能力、考えを記述できる能力を伸ばす。同時に生徒とのやり取りを通して理解度を把握し、内容の定着を図る。自宅での自主的な学習を進めることができるように適切な課題を与える。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	数列の極限	数列の極限	定期考査
		無限等比数列の極限	出席状況
		無限級数	授業への取り組み
5月		無限等比級数	宿題・提出物
	関数の極限	分数関数とそのグラフ	
		無理関数とそのグラフ	
		逆関数と合成関数	
6月		いろいろな無限級数	
		関数の極限	
		三角関数と極限	
		関数の連続性	
7月	微分法	導関数	
		積・商の微分法	
		合成関数の微分法	
		三角関数の導関数	
		対数関数・指数関数の導関数	
		高次導関数	
8月	微分法の応用	接線の方程式	
		平均値の定理	
9月		関数の増減	
		関数の極大・極小	
10月		第２次導関数とグラフ	
		最大・最小	
		方程式、不等式への応用	
11月		曲線の媒介変数表示	
		速度・加速度	
		近似値	
12月	積分法	不定積分とその基本公式	
		置換積分法と部分積分法	
		いろいろな関数の不定積分	
		定積分	
		定積分の置換積分法	
		定積分の部分積分法	
		定積分で表された関数	
		定積分と区分求積法	
		定積分と不等式	
1月	積分法の応用	面積	
		体積	
2月			
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学C	2	3	高等学校数学C改訂版（啓林館）	アドバンス数学Ⅲ＋C四訂版（啓林館）

到達目標	行列とその応用、式と曲線について理解させ、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	授業・課題への積極的な取り組みを重視する。講義にとどまらずに問題演習に重点をおき、内容への理解を深め、問題を解く能力、考えを記述できる能力を伸ばす。同時に生徒とのやり取りを通して理解度を把握し内容の定着を図る。自宅での自主的な学習を進めることができるように適切な課題を与える。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	行列とその応用	行列とその成分 行列の加法・減法・実数倍 行列の乗法 行列の乗法の性質 逆行列 連立１次方程式と行列 点の移動と１次変換 原点のまわりの回転	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物 小テスト
8月 9月 10月 11月 12月	式と曲線	放物線 楕円 双曲線 ２次曲線と直線 ２次曲線と平行移動 ２次曲線と離心率 媒介変数表示 極座標と極方程式	
1月 2月 3月	式と曲線	いろいろな曲線	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	化学基礎	2	1	新版　化学基礎	ベストフィット　化学基礎

到達目標	化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・　化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに，物質に対する関心を高め，物質を探究する方法を身に付ける。また，物質の構成粒子を観察，実験などを通して探究し，基本的な概念を理解し，物質について微視的な見方ができるようにする。 ・　無機物質と有機化合物の性質や変化を観察，実験などを通して探究し，物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。 ・　反応熱，酸と塩基の反応，酸化還元反応を観察，実験などを通して探究し，基本的な概念や法則を理解するとともに，化学反応をエネルギーの出入りと関連付けて考察できるようにする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	第Ⅰ章 物質の構成	・物質は混合物と純物質，化合物と単体などに分類されることを学習する。また，物質の三態変化が熱運動の激しさが変わることによっておこることを理解する。 ・元素について学習し，同素体の存在を理解する。 ・原子の構造について理解する。 ・元素の周期律を理解し，周期表の成り立ちについて学習する。 ・イオンの生成について学習し，イオン結合，イオン結晶，イオン結晶の利用を理解する。 ・分子の形成について学習し，分子からできる物質，さらに分子結晶，共有結晶について理解する。また，分子からなる物質の利用についても学習する ・金属結合，金属結晶について理解し，金属の利用を学習する。 ・化学結合の種類によって，物質を分類できることを理解する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	第Ⅱ章 物質の変化 第１節 物質量と化学反応式 第２節 酸と塩基の反応	・元素の原子量を理解し，分子量，式量の求め方を学習する。 ・物質量とその応用を理解する。 ・物質の溶解と濃度について学習する。 ・状態変化に伴う熱運動のエネルギーの変化と，気体の圧力について学習する。 ・状態変化と化学変化の違いを理解し，化学反応式のつくり方とその応用を学習する。また，化学の基本法則を学ぶ。 ・酸と塩基の定義を理解する。 ・酸・塩基の強さと水素イオン濃度との関係を理解する。 ・中和を理解し，塩の種類を学習する。 ・中和滴定の操作を習得し，量的関係を理解する。	
1月 2月 3月	第３節 酸化還元反応	・酸化・還元の定義を理解する。 ・酸化剤，還元剤について学習し，それらの反応を理解する。 ・金属のイオン化傾向にもとづいて，金属の反応性を学ぶ。 ・酸化還元反応の利用例として，製錬や電池の原理を学習する。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	地学基礎	2	1	高等学校　地学基礎　(啓林館)	ニューステージ 新訂 地学図表(浜島書店)

到達目標	地球や地球を取り巻く環境への関心を日常生活や社会との関連を通して高める。また、実習や観察などを通して，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	身の回りの地学的な事物・現象に関心をもたせ，主体的，積極的にかかわらせる中で，問題を見いだす力や科学的な思考力，表現力を育成する。また，季節や地域に根差した視点での観察や変化の追跡などを通して，地球上の諸現象を，様々な時間的スケールと空間的広がりの中でとらえさせる。さらに，地球や地球を取り巻く環境に対する興味・関心を高めることができるように配慮する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	第1部　固体地球と その変動 第5部　自然との共生	・地球の概観 (地球の形，重力，地磁気，地球内部の熱) ・地球の内部構造 (地震波の性質，個体地球の層構造，走時曲線，アイソスタシー) ・プレートと地球の活動 (リソスフェアとアセノスフェア，プレートの分布，境界) ・地震 (地震の発生と断層，震度とマグニチュード) ・火山活動と火成岩の形成 (噴火の形式，火山の分布，火成岩の産状と分類) ・地球環境と人類 (地震災害と防災，火山災害と防災，人間生活と地球環境の変化)	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	第2部　移り変わる地球 第3部　大気と海洋	・堆積岩の形成 (堆積岩の分類，地層，地質構造) ・変成岩の形成 (広域変成作用，接触変成作用) ・地球の歴史の組み立て ・大気圏 (大気圏の構造，対流圏の気象，水の状態変化) ・地球のエネルギー収支 (太陽放射と地球放射，温室効果，大気の大循環，海水の循環) ・日本の気象 (冬から春の気象，夏から秋の気象)	
1月 2月 3月	第4部　宇宙の構成	・太陽系の天体 (太陽系の姿，惑星の特徴，太陽系の小天体，惑星の誕生) ・太陽の概観 (太陽の表面，太陽活動とエネルギー) ・太陽と恒星 (星の明るさ，星の色，太陽の誕生と進化) ・銀河系と宇宙 (銀河系の構造，銀河の分布，膨張する宇宙，宇宙の誕生)	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	物理基礎	2	2	高校物理基礎（実教出版）	セミナー物理基礎＋物理 （第一学習社）

到達目標	1. 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解する。 2. 物理的な事物・事象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高める。 3. 科学的な自然観を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	物理的な事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する科学的な態度を身に付けるために、演示実験や生徒実験を多く取り入れる。また、日常生活で体験することとの関連する具体例を示すことにより、生徒の理解の助けとなるよう努める。基本的な概念や原理・法則が理解できた段階で、徹底的な演習により、その定着を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	運動の表し方	変位、速度、加速度などの運動の表し方 相対速度や速度の合成	定期考査 出席状況
5月		自由落下運動 自由落下や鉛直投げ上げ運動の「時間」「速度」「位置」の関係	授業への取り組み 宿題・提出物
6月		水平投射運動や斜方投射運動	
	力	重さと質量、フックの法則、力の性質、作用反作用の法則の理解	
7月		摩擦力、抵抗力、浮力	
	運動の法則	慣性の法則、運動の法則	
8月	運動とエネルギー	エネルギーと仕事と仕事率 運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存	
9月	熱とエネルギー	物質の三態や温度、熱容量や比熱 熱力学第一法則、熱機関	
10月			
11月	波の性質	波とは、媒質の振動が次々と時間をかけて伝わっていく現象であることを理解する。	
12月	音と振動	波の式、横波と縦波、波の反射。定常波 波の重ねあわせ、うなり、気柱の共鳴や共振	
1月	電流の流れ方	摩擦電気、電流と電気量 オームの法則 金属の抵抗率 電力・電力量やジュールの法則	
2月	電気の利用	半導体、ダイオード 直流と交流 電磁誘導 送電と変圧 実効値 電波の性質	
3月			

平成２５度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	化学	2	2年	高等学校　化学	セミナー　化学

到達目標	化学的な事物・現象についての観察・実験や課題研究などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	①気体，液体，固体の性質を観察，実験などを通して探究し，化学結合の概念や物質の構造を理解する。 ②反応熱，酸化還元反応を観察，実験などを通して探究し，基本的な概念や法則を理解するとともに，化学反応をエネルギーの出入りと関連付けて考察できるようにする。 また、反応速度と化学平衡を観察，実験などを通して探究し，化学反応を平衡と関連付けて理解する。 ③無機物質の性質や変化を観察，実験などを通して探究し，物質の代表的な性質及び反応について理解するとともに，それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	物質の状態	化学結合と結晶 構成粒子による結晶の種類と特徴を理解する 結晶格子について理解する 物質の三態変化 状態変化と熱の関係について理解する 気液平衡の概念を理解し、蒸気圧曲線が示す意味を理解する 気体の性質 気体の体積変化について理解する 一定量の気体について、状態方程式が成り立つことを理解する 理想気体と実在気体の違いについて理解する 溶液の性質 固体及び気体についての溶解について理解する 希薄溶液の一般的性質及びコロイド溶液についての性質を理解する	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	物質の変化と平衡	物質とエネルギー 化学反応と熱の関係を表す熱化学方程式を理科する ヘスの法則及び結合エネルギーについて理解する 電池・電気分解 電池の原理を理解し、代表的な電池について理解を深める 電気分解での各極板で起こる反応を理解する 電気分解の量的関係を理解する 化学反応の速さ 反応の速さと、濃度や圧力、温度との関係について理解する 化学平衡 化学平衡について理解し、これらの量的関係が、固有の定数にもとづいて説明されることを理解する 弱酸・弱塩基の電離や塩の加水分解にも化学平衡が応用できることを理解する	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
1月 2月 3月	無機物質	非金属元素の単体と化合物 元素の分類を復習し、金属以外の単体や化合物について、製法や性質、用途などを理解する	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	生物基礎	2	2	東京書籍　生物基礎	実教　生物総合資料

到達目標	1　さまざまな事例を通して、自然と生物に対して関心を持ち、理解を深めます。 2　観察や実験を通して探究する能力と科学的に考える態度を身につけます。 3　基本的な内容の理解を徹底することで、確かな学力の養成をめざします。
到達目標に向けての 具体的な取組	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する科学的な態度を身に付けるために、演示実験や生徒実験を多く取り入れる。また、日常生活で体験することとの関連する具体例を示すことにより、生徒の理解の助けとなるよう努める。自然の事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身に付くよう図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	オリエンテーション 細胞 組織、浸透圧 細胞分裂、染色体 配偶子形成	「生物基礎」について、学習の目標や内容、学習方法、評価方法を理解します。 細胞が生命の単位であることについて、いろいろな事例を通して学習し理解します。 核や細胞質の働き及び構造体の形態を観察などの探究活動を通して理解し、細胞が生命活動の基本の場となっていることを理解します。 体細胞分裂の過程と分裂装置について学習し、染色体が娘細胞に等しく分配されることを理解します。 生物が次の世代へ生命をつないでいく生殖の意義、いろいろな生殖方法を理解します。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	動物の発生 動物の発生 重複受精 遺伝の法則	ウニ・カエルを例として、受精卵から動物の体ができあがる発生の過程と細胞の分化の過程、器官形成の機構について理解します。 植物の生殖の過程を理解します。 遺伝に法則が存在することと法則の基本について実習と考察を通して理解します。 遺伝の法則の応用として遺伝子さまざまな遺伝・遺伝子の相互作用について理解します。	
1月 2月 3月	伴性遺伝、連鎖と組み換え 遺伝子の本体、ＤＮＡ	性染色体と性別の決定様式、性染色体上の遺伝子による実際の遺伝現象について理解します。独立の法則に従わない実験例をもとに連鎖について考察し、遺伝子と染色体の関係についてより深く理解します。 遺伝子の本体が DNA であることをその探究の経緯とともに理解し、DNA の性質を理解します。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	物理Ⅱ	4	3	高等学校物理Ⅱ	アクセス物理Ⅰ・Ⅱ 浜島書店

到達目標	物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探求する能力と態度を育てる。また、物理の基本的な概念や原理・法則を理解させることによって、科学的な自然観を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	物理的な事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する科学的な態度を身に付けるために、演示実験や生徒実験を多く取り入れる。また、日常生活で体験することとの関連する具体例を示すことにより、生徒の理解の助けとなるよう努める。基本的な概念や原理・法則が理解できた段階で、徹底的な演習により、その定着を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	電流	オームの法則、直流回路	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
	平面内の運動	平面運動の速度・加速度、落体の運動	
5月	運動量の保存	運動量と力積、運動量保存、反発係数	
	円運動と万有引力	等速円運動、慣性力、単振動、万有引力	
6月	電流と磁場	磁場、電流の作る磁場、電流が磁場から受ける力 ローレンツ力	
7月	電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則、交流の発生、インダクタンス、交流回路、電磁波	
8月	熱と物質の状態	物質の状態 気体の法則と気体分子の運動、気体の内部エネルギーと比熱	
9月	原子・電子と物質の性質	電子、原子の構造、固体の性質と電子	
	粒子性・波動性と	光の粒子性、光の波動性、粒子の波動性、	
10月	原子の構造	原子の構造とエネルギー準位	
	原子核と素粒子	原子核、放射線とその性質、核反応と核エネルギー、素粒子と宇宙線	
11月	静電気・電流・磁場・交流	物理Ⅰの概括	
	課題研究	問題演習（物理Ⅰの内容も含めて）	
12月			
1月	課題研究	問題研究	
2月			
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	化学Ⅱ	３・２	３年	高等学校　改訂　化学Ⅱ	改訂版トライアル化学Ⅱ

到達目標	化学的な事物・現象についての観察・実験や課題研究などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	①気体，液体，固体の性質を観察，実験などを通して探究し，化学結合の概念や物質の構造を理解する。 また，反応速度と化学平衡を観察，実験などを通して探究し，化学反応を平衡と関連付けて理解する。 ②日常生活と関係の深い食品や衣料，プラスチック，金属，セラミックスを観察，実験などを通して探究し，それらの性質や反応を理解させ，身のまわりの物質について科学的な見方ができるようにする。 ③生命体を構成する物質，生命現象と関係する化学反応，医薬品や肥料を観察，実験などを通して探究し，それらの性質や利用について理解し，化学の成果が日常的に役立っていることを認識する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	物質の構造	物質の状態と変化 物質の状態変化の様子を、構成粒子の挙動から理解する	定期考査
		気液平衡と蒸気圧曲線について理解する	出席状況
5月		気体の性質	授業(講義)への取組み
		一定量の気体について、圧力、体積および温度が、ある定数で関係づけられることや、気体の分子量の求め方などについて理解する	授業(実験)への取組み
6月		溶液の性質	宿題・提出物
		液体への気体や固体の溶解について理解する	
		希薄溶液の性質やコロイド溶液について理解する	
7月	反応の速度	化学反応の速さ 反応の速さはどのように表されるか、また、反応の速さは何によって変わるのか理解する	
8月	化学平衡	化学平衡と平衡定数	定期考査
9月		化学平衡について理解し、これらの量的関係が、固有の定数にもとづいて説明されることを理解する	出席状況
		弱酸・弱塩基の電離や塩の加水分解にも化学平衡が応用できることを理解する	授業(講義)への取組み 授業(実験)への取組み
10月	高分子化合物	糖類とタンパク質	
		炭水化物について、分類・特徴・構造・所在などを理解する	宿題・提出物
		タンパク質の構成単位であるアミノ酸について性質や分子の構造を理解する	
11月	生活と物質	衣料と材料の化学	
		おもな食品と衣料について、化学的な性質を学習する	
		生活に必要な各種製品の素材となる合成樹やゴムについて理解する	
12月	生命と物質	生命体を構成する物質	
		生命体を構成する物質とその働きについて理解する	
1月	センター対策	電気分解・金属イオンの分離等の復習	出席状況
	課題実験	実験①合成染料の合成および染色	授業(実験)への取組み
2月		実験②合成繊維（ナイロン・レーヨン）の合成	
3月		実験③アミノ酸およびタンパク質の性質	宿題・提出物

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	生物Ⅰ	2	3	東京書籍　生物Ⅰ	実教出版　生物総合資料 第一学習社　セミナー生物Ⅰ

到達目標	1　さまざまな事例を通して、自然と生物に対して関心を持ち、理解を深めます。 2　観察や実験を通して探究する能力と科学的に考える態度を身につけます。 3　基本的な内容の理解を徹底することで、確かな学力の養成をめざします。
到達目標に向けての 具体的な取組	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する科学的な態度を身に付けるために、演示実験や生徒実験を多く取り入れる。また、日常生活で体験することとの関連する具体例を示すことにより、生徒の理解の助けとなるよう努める。自然の事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身に付くよう図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	遺伝子と本体 内部環境と恒常性の維持	遺伝子の本体が DNA であることをその探究の経緯とともに理解し、DNA の性質を理解します。 動物がどのようなしくみで環境の変化を受容し反応するかを理解します。 体液の恒常性が維持されるしくみを、浸透圧調節や血液の働きの学習を中心に理解します。 肝臓と腎臓のしくみと働きを恒常性の維持の観点から理解します。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	自律神経系と内分泌系 刺激の受容と行動	神経が興奮を伝導伝達するしくみを理解します。 ホルモンと自律神経について、特に自律神経は自ら考察することを通して理解します。 視覚聴覚を中心に受容器のしくみを理解します。 筋肉の構造と筋収縮のしくみを中心に効果器の働きを理解します。 動物の神経系の種類について理解します。 ヒトの脳と脊髄の構造と働き、反射のしくみを理解します。 走性や本能行動の実例を通して、動物の行動の成り立ちを理解します。	
1月 2月 3月	演習	入試等に備えて、種々の問題演習をします。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	生物Ⅱ	2	3年文系	東京書籍　生物Ⅱ	実教出版　生物総合資料 数研　トライアル生物Ⅱ

到達目標	1　さまざまな事例を通して、自然と生物に対して関心を持ち、理解を深めます。 2　観察や実験を通して探究する能力と科学的に考える態度を身につけます。 3　基本的な内容の理解を徹底することで、確かな学力の養成をめざします。
到達目標に向けての 具体的な取組	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する科学的な態度を身に付けるために、演示実験や生徒実験を多く取り入れる。また、日常生活で体験することとの関連する具体例を示すことにより、生徒の理解の助けとなるよう努める。自然の事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身に付くよう図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	生命活動を支える物質 細胞呼吸	遺伝子の本体が DNA であることをその探究の経緯とともに理解し、DNA の性質を理解します。 アミノ酸が結合してできているタンパク質の構造と特性を理解します。 代謝とそれに伴うエネルギー代謝の基礎的な内容を理解します。 タンパク質でできている触媒としての酵素の性質について考察を通して理解します。 呼吸の定義、嫌気呼吸と好気呼吸の違いを理解します。 嫌気呼吸のしくみと特徴を理解します。 好気呼吸のしくみと特徴を理解し嫌気呼吸と比較しその違いなど呼吸について総合的に考察します。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	光合成と窒素同化 生命現象とタンパク質 分子からみた遺伝現象 遺伝情報とその発現 生物界の変遷	光の吸収から二酸化炭素の固定にいたる光合成のしくみを、その解明の過程とともに考察を通して理解します。 細菌の光合成と化学合成について植物の光合成と比較し考察します。窒素同化のしくみと意義を理解します。 ヘモグロビンの性質や免疫に果たすタンパク質の働きについて理解します。 神経伝導・伝達におけるタンパク質の働きを理解します。 考察を通して地球環境の変化と生物の関わり、生物の進化の過程について理解します。	
1月 2月 3月	生物の集団	考察を通して地球環境の変化と生物の関わり、生物の進化の過程について理解します。 人類の進化の過程について考察を通して理解します。 個体群の成長を理論的な考察を通して理解します。 個体群の変動に見られる現象と法則性を理解します。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	生物Ⅱ	4	3年理系	東京書籍　生物Ⅱ	実教出版　生物総合資料 東京書籍　ニューグローバル

到達目標	1　さまざまな事例を通して、自然と生物に対して関心を持ち、理解を深めます。 2　観察や実験を通して探究する能力と科学的に考える態度を身につけます。 3　基本的な内容の理解を徹底することで、確かな学力の養成をめざします。
到達目標に向けての 具体的な取組	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する科学的な態度を身に付けるために、演示実験や生徒実験を多く取り入れる。また、日常生活で体験することとの関連する具体例を示すことにより、生徒の理解の助けとなるよう努める。自然の事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身に付くよう図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	遺伝子と本体 内部環境と恒常性の維持 自律神経系と内分泌系 刺激の受容と行動	遺伝子の本体が DNA であることをその探究の経緯とともに理解し、DNA の性質を理解します。 体液の恒常性が維持されるしくみを、浸透圧調節や血液の働きの学習を中心に理解します。 肝臓と腎臓のしくみと働きを恒常性の維持の観点から理解します。 神経が興奮を伝導伝達するしくみを理解します。 ホルモンと自律神経について、特に自律神経は自ら考察することを通して理解します。 視覚聴覚を中心に受容器のしくみを理解します。 筋肉の構造と筋収縮のしくみを中心に効果器の働きを理解します。 動物の神経系の種類について理解します。 ヒトの脳と脊髄の構造と働き、反射のしくみを理解します。 走性や本能行動の実例を通して、動物の行動の成り立ちを理解します。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	環境と植物の反応 生命活動を支える物質 細胞呼吸 光合成と窒素同化	陸上植物の構造を視野において水の吸収の過程を理解します。 光合成とさまざまな環境要因との関係を実験例に基づく考察を通して理解します。 植物ホルモンによる植物の成長の調節のしくみを解明の過程についての考察を通して理解します。 呼吸の定義、嫌気呼吸と好気呼吸の違いを理解します。　まとめとして植物の一生と環境の関係について考察します。 光の吸収から二酸化炭素の固定にいたる光合成のしくみを、その解明の過程とともに考察を通して理解します。 細菌の光合成と化学合成について植物の光合成と比較し考察します。窒素同化のしくみと意義を理解します。	
1月 2月 3月	分子からみた遺伝現象 遺伝情報とその発現 生物界の変遷	考察を通して地球環境の変化と生物の関わり、生物の進化の過程について理解します。 人類の進化の過程について考察を通して理解します。 個体群の成長を理論的な考察を通して理解します。 個体群の変動に見られる現象と法則性を理解します	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
理科	地学Ⅰ	2	3	高等学校　地学Ⅰ　改訂版(啓林館)	ニューステージ 新訂 地学図表（浜島書店）

到達目標	地学的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	地学では、他の理科にはない長い時間で変化する現象等を扱うが、可能な限り実習、実験や映像・画像を通して、その変化の理解を深めていく。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	第３部　大気・海洋と気象 第３章　日本の天気 第４章　海洋と気候 第２部　地球の歴史 第１章　地球史の読み方	・日本付近の気団の特徴と温帯低気圧、熱帯低気圧についてまとめ、日本の季節ごとの気圧配置から天気の特徴について理解を深める。 ・海洋表層流と鉛直循環を理解させる。海洋と大気の関連を知る。 ・地質図に見られる地層や岩石の空間的な広がりから、地球史を読み取る方法を理解させる。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	第４部　宇宙の構成 第１章　太陽と太陽系 第２章　恒星の性質と進化 第３章　銀河系と宇宙	・地球の日周運動、年周運動について理解させる。 ・惑星の視運動を知り、ケプラーの３法則について理解させる。 ・惑星の特徴をまとめさせる。 ・最も身近な恒星である太陽の様子を学び、他の恒星についても知識を広げる。 ・HR図からわかる恒星の特徴や進化を理解させる。 ・恒星の集団である星団から、星雲、銀河と視野を広げ、宇宙の広がりを理解させる。	
1月 2月 3月		・総合問題	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	体育・男子	3	1	新保健体育（大修館書店）	

到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、健康・安全に留意し、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を養うようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	運動を通して自分や仲間の体や心の状態に気づき、体の調子を整え、仲間と楽しく交流する。 1） 学習規律の確立 2） 運動の学び方の育成 3） 体力の向上 4） スポーツ文化・ルール・マナーの知識としての習得、ゲームや実際の運動の運営管理(安全面・運動生理を含む)習得

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	体つくり運動 および柔道・陸上競技 各種トレーニング 水泳	体ほぐしの運動を通じて、体を動かす楽しさや心地よさを探究する。各種トレーニングを各自に能力に合った目標設定を行い実践的に理解する。 柔道を通じて、礼儀や相手を思いやる気持ちを養い、自分自身が安全にあらゆる受け身がとれるようにする。 いろいろな基礎的運動を通して、体力の向上を図る。 集団行動や桜塚体操を習得する。 体育理論を座学で授業展開をし、文化としてのスポーツ・運動生理学を中心に学習する。 水の特性を理解し、水泳の楽しさや喜びを味あわせ、自己の能力に合わせた課題や安全に対する能力を養う。	出席状況 授業への取り組み(積極性、協調性) 提出物 目標到達度
8月 9月 10月 11月 12月	水泳 ラグビー および柔道	ラグビーの基本的な技術を身につけ、ラグビー精神に触れながら集団的な技能に結びつけることでゲームを楽しめるようになる。 柔道では受け身の継続的習得と寝技のかかり練習を通じ次の実践への能力を養う。また、審判法を学習し試合の運営ができるようになる。	
1月 2月 3月	持久走 および柔道	自己の能力に応じて目標を決め、あきらめずに心身共に持久性を高める。安全に配慮し自身のコンディションを整え計画的に実践できる能力を養う。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	体育・女子	3	1	新保健体育（大修館書店）	

到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、健康・安全に留意し、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を養うようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	運動を通して自分や仲間の体や心の状態に気づき、体の調子を整え、仲間と楽しく交流する。 ５） 学習規律の確立 ６） 運動の学び方の育成 ７） 体力の向上 スポーツ文化・ルールー・マナーの知識としての習得、ゲームや実際の運動の運営管理(安全面・運動生理を含む)習得。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	体つくり運動 および桜塚体操 陸上競技(ハードル走)・各種トレーニング タグラグビー 水泳	体ほぐしの運動を通じて、体を動かす楽しさや心地よさを探究する。　集団行動と桜塚体操を習得させる。 ハードル走により自分の能力に応じ技術を磨き協力して競技をする姿勢を育てる。 いろいろな基礎的運動を通して、体力の向上を図る。 。各種トレーニングを各自に能力に合った目標設定を行い実践的に理解する。 個人的スキルを中心に、ラグビーの特性を知り協力してゲームを展開する。 体育理論を座学で授業展開をし、文化としてのスポーツ・運動生理学を中心に学習する。 水の特性を理解し、水泳の楽しさや喜びを味あわせ、自己の能力に合わせた課題や安全に対する能力を養う。	出席状況 授業への取り組み(積極性、協調性、）・提出物 目標到達度
8月 9月 10月 11月 12月	水泳 およびマット運動 バスケットボール	柔軟性、調整力を高めながらマット技能を習得し、マット演技の発表と評価ができる。 バスケットボールを通じて技術の巧緻性を高め判断力を養い楽しくゲームを運営できるようにする。 チームのおける自分の役割を自覚しその責任を果たし互いに協力し合い練習ゲームをができるようになる。	
1月 2月 3月	持久走	自己の能力に応じて目標を決めて努力し、安全に配慮し計画的に行える能力を養う。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	保健	1	1	新保健体育（大修館書店）	新保健ノート（大修館書店）

到達目標	生涯を通じて健康に生きていくために、生涯の各段階における健康課題を知る。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	生涯の各段階における健康問題を知り、それに対する対処の仕方を学ぶ。健康を守るために、保健・医療制度の役割、そしてどのように活用すべきか学ぶ。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	現代社会と健康 1. 健康の考え方 2. 健康の保持増進と病気の予防	現代社会の健康水準や健康のとらえ方、そして個人の行動と社会の活動が、私たちの健康とどのように関わっているかを学ぶ。 ・わが国の健康水準と病気の傾向 ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・様々な保健活動や対策 生涯を健康に過ごすためには、生活習慣病を予防し、医薬品の使用や感染症の予防を学ぶ。 ・日常の生活行動と生活習慣病 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 ・医薬品と健康 ・感染症とその予防 ・心肺蘇生法（実技講習を含む。）	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	 3. 精神の健康 4. 交通安全	 健康は、心と体の調和により保たれていることを学ぶ。 ・欲求と適応機制 ・心身の相関とストレス ・自己実現 ・感染症とその予防 交通事故の現状を知るとともに、安全な交通社会づくりについて学ぶ。 ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり	
1月 2月 3月	5. 応急手当	思わぬ事故や災害にあったとき、自分や他人の生命を守るための適切な応急手当ができる手順や方法を学ぶ。 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	体育・男子	2	2	新保健体育（大修館書店）	

到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、健康・安全に留意し、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を養うようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	運動を通して自分や仲間の体や心の状態に気づき、体の調子を整え、仲間と楽しく交流する。 ８） 学習規律の確立 ９） 運動の学び方の育成 １０） 体力の向上 スポーツ文化・ルールー・マナーの知識としての習得、ゲームや実際の運動の運営管理(安全面・運動生理を含む)習得

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	バレーボール　および柔道 水泳	バレーボール通じて、個人技能をゲーム等集団で発揮できる能力を養う。チームにおける自己の役割を自覚してその役割を果たして互いに協力して練習やゲームができるようになるとともに勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。安全を確かめ、適切な行動ができるようになる。 柔道を通じて、礼儀や相手を思いやる気持ち、自分自身の安全に留意しながら立ち技を習得する。 体育理論を座学で授業展開をし、文化としてのスポーツ(ルールやマナー)歴史・運動生理学を中心に学習する。 「背泳ぎ」水の特性を理解し、水泳の楽しさや喜びを味あわせ、自己の能力に合わせた課題や安全に対する能力を養う。	出席状況 授業への取り組み 提出物 目標への到達度
8月 9月 10月 11月 12月	 水泳 サッカー および柔道	サッカーを通じ、個人技能をゲーム等集団で発揮できる能力を養う。チームにおける自己の役割を自覚してその役割を果たして互いに協力して練習やゲームができるようになるとともに勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。安全を確かめ、適切な行動ができるようになる。 跳躍種目を通じ、種目の特性を学びながら自己記録へ挑戦する。互いに計測しコーチングしながら記録を伸ばす工夫をする。 柔道では、立ち技の技能習得に励み、審判法を理解し実践を通じ安全に個人戦や団体戦の試合ができるようにする。	
1月 2月 3月	持久走	１年間の自己の進歩を具体的に記録し実践する。 自己の能力に応じて目標を決めて努力し、安全に配慮し計画的に行える能力を養う。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	体育・女子	2	2	新保健体育（大修館書店）	

到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、健康・安全に留意し、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	運動を通して自分や仲間の体や心の状態に気づき、体の調子を整え、仲間と楽しく交流する。 １１）　学習規律の確立 １２）　運動の学び方の育成 １３）　体力の向上 スポーツ文化・ルールー・マナーの知識としての習得、ゲームや実際の運動の運営管理(安全面・運動生理を含む)習得

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	ハンドボール およびダンス 水泳	ハンドボールの技術を習得し、また、集団としての自分の役割を理解し戦術を立てた楽しいゲームができるようになる 「脊泳ぎ」水の特性を理解し、水泳の楽しさや喜びを味あわせ、自己の能力に合わせた課題や安全に対する能力を養う。 ダンスは、自分の能力に応じた課題をもって運動を行う。楽しく踊り、発表できるようにする。 体育理論を座学で授業展開をし、文化としてのスポーツ(ルールやマナー)歴史・運動生理学を中心に学習する。	出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	 水泳 およびダンス ミニサッカー	水中での活動が全身トレーニングとして効果的であることを体感させる。 全身で感情や背景を表現しリズム感豊かに創作し、演技発表できるようにする。 チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦をいかした楽しいゲームができるようになる。	
1月 2月 3月	持久走	自己の能力に応じて目標を決めて努力し、体力の向上に努め安全に配慮し計画的に行える能力を養う。 年間の自己の進歩を具体的に記録し実践する。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	保健	1	2	新保健体育（大修館書店）	新保健ノート（大修館書店）

到達目標	生涯を通じて健康に生きていくために、生涯の各段階における健康課題を知る。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	生涯の各段階における健康問題を知り、それに対する対処の仕方を学ぶ。健康を守るために、保健・医療制度の役割、そしてどのように活用すべきか学ぶ。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	生涯を通じる健康 1. 生涯の各段階における健康	思春期から中高年期にいたるまで、どのような健康問題があるか、それらをどのように対処すればよいかを学ぶ。 ・思春期と健康 ・結婚生活と健康 ・加齢と健康	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	2. 保健･医療制度と地域の保健･医療機関の活用 社会生活と健康 1. 環境と健康	生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度の必要性、しくみや活用の仕方を学ぶ。 ・わが国の保健･医療制度 ・地域の保健･医療機関の活用 社会生活における健康の保持増進には、個人の力、自然環境や社会環境が大きく関わっていることを学ぶ。 ・環境の汚染 ・環境と健康の対策	
1月 2月 3月	2. 環境と食品の保健 3. 労働と健康	・環境衛生 ・食品保健 ・職業病や労働災害 ・労働者の健康	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
保健体育	体育	3	3	新保健体育（大修館書店）	

到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を養うようにする。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	自らの興味、関心、能力に応じて種目を選択しそれぞれの基礎、応用､実践と展開することを目標に生徒自身が立案し実践、反省しながら運営する能力を養う。 、活動量の保証、及び自主性を高めることで、生涯のスポーツ活動を継続する意識を高めることを目標とする。 年間を４期に区分し、それぞれ違う種目を選択させる。。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	Ⅰ期・選択種目 基礎編 応用編 実践編 Ⅱ期・選択種目 基礎編 および水泳 応用編	（選択種目）サッカー・ソフトボール・バレーボール・ソフトテニス 硬式テニス・卓球・ラクロス・バドミントン・ハンドボール フラッグフットボール・アルティメット・バスケットボール・ダンス・他 各種選択種目の運動の特性を理解し、リーダー集会を通じて施設・人数等を考慮して、事前に授業計画を立て、互いが技術指導を行える能力を養う。 前期で選択した種目以外を行う。初めての種目の選択であっても、自分達で種目を研究し指導にあたることができるよう技術を高める。 季節的な種目である水泳を必修とした。自分の能力に応じて技能を高め、正しフォームで長く泳げる能力を養う。	出席状況 授業への取り組み ・企画 ・指導 ・活動量 ・協調性 ・提出物 など総合的に判断する
8月 9月 10月 11月 12月	水泳 Ⅱ期 実践編 Ⅲ期・選択種目 基礎編 応用編	十分な身体活動を保証し、互いに協力して練習し、安全に配慮できる態度を養う。 ＊ Ⅰ・Ⅱ期で選択した種目以外を行う 。	
1月 2月 3月	Ⅳ期・選択種目 基礎編 応用編	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期で選択した種目以外を行う。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽Ⅰ	2	1	ON1！	RECORDER　BOOK

到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	(a)歌唱表現　曲種に応じた発声の工夫、視唱力の伸長、合唱における表現の工夫 (b)器楽表現　リコーダーやクラシックギターの体験と奏法の工夫、視奏力の伸長、 合奏における表現の工夫 生徒の主体的な授業への参加を重視する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	発声の基礎 器楽① 合唱①	呼吸法、共鳴など発声の基礎を習得する アルトリコーダーの基本的な奏法を習得し視奏力を養う 合唱の基礎となるカデンツを学習する 混声４部合唱の響きを感じ取る 視唱力を養う	実技考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	器楽② 合唱② 器楽③	リコーダーのいろいろな奏法を習得し、アンサンブルを体験することにより表現の工夫をする 混声４部合唱を作り上げる中で表現の工夫をする アンサンブルも取り入れて聞きながら演奏する練習をする クラシックギターの基本的な奏法の習得と鑑賞	
1月 2月 3月	器楽④ 合唱③	ギター和音奏法やアルアイレ奏法を学習し表現の幅を広げる アンサンブル発表を通して表現の多様さを感じ取る パートの役割を意識し、主体的に合唱を作り上げる	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅰ	2	1	高校美術１（日本文教出版）	美術　表現と技法 （日本文教出版）

到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	Ａ：表現について：①「絵画と彫刻」●感じ取ったこと、自己の考え、夢や想像などを基にする課題テーマの表現●表現形式を含める創造的な表現の構想●デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方などの技能●課題意図に応じた多様な表現方法の創意工夫②「デザイン」●機能と美しさや楽しさを考えた課題テーマの表現●造形要素の理解と創造的な表現の構想●アイディアスケッチ、色彩、材料や用具の生かし方などの技能●課題意図に応じた多様な表現方法の創意工夫。 Ｂ：鑑賞について：●美術作品のよさや美しさ●作者の心情や意図と表現の工夫●生活や自然と美術の関連●日本の美術の歴史と表現の特質 ＊１学年の授業テーマとして、「制作力（集中力・気力・体力）を培う」を設ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	○絵画・デザイン（平面）の各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。 ○鑑賞課題の実施。	絵画Ａ－「坂道の自画像」をテーマとし、絵画表現する。 絵画Ｂ－「子供のころのなつかしい思い出」から発想し、絵画表現する。 デザインＡ－「風」「星」「森」の中から一つ選び、そのイメージとその選んだ文字を画面に構成する。 デザインＢ－「窓」と「旅人・夢・秋・写真」の中から二つ選んで、３つのことばから発想するイメージとその題名を構成する。 各講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。	課題作品制作 出席状況 授業への取り組み 提出物
8月 9月 10月 11月 12月 	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。 ○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。 ○鑑賞課題の実施。 ○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。大阪市立美術館で行われる「高校展」を鑑賞してその鑑賞レポートを提出する。 絵画Ａ－鏡を手に持った自画像を描く 絵画Ｂ－「人と自然」「人と街」「人と機械」「人と公園」からテーマを一つ選びそれぞれを構成して絵画表現する。 立体Ａ－「力」をテーマに、立体表現する。 立体Ｂ－「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。 デザインＡ－「日本文化の紹介」をテーマとするポスター作り デザインＢ－構成要素の言葉から物語を作り絵コンテを作る 各講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。 美術館や博物館、その展示会について知らせる。市役所のロビーで行う「美術授業作品展」を鑑賞して、その鑑賞レポートを提出する。	
1月 2月 3月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	作品の大小や制作時間数と作品の良し悪しは関係しないことを体験する。 絵画Ａ－「森の中で瞑想する私」をテーマとし、絵画表現する。 絵画Ｂ－「今朝の出来事」「私の町」のいずれかのテーマを自分自身と関連づけて絵画表現する。 立体Ａ－「柔らかい」をテーマに、立体表現する。 立体Ｂ－「２１世紀のシンボル」をテーマとする立体表現。 デザインＡ－「MOON　ＬＩGHT」をテーマとするデザイン表現 デザインＢ－「歩く」をテーマとする 4 枚 1 組のイラストと文章による伝達。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道Ⅰ	2	1	書道Ⅰ（教育出版）	ペン字テキスト基本編

到達目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・大筆、中筆の使い方のみならず、小筆による実用的な表現の学習も積み重ねます。 ・硬筆練習の課題や、様々な展覧会の鑑賞の勧め、鑑賞指導なども含め幅広い書教育をめざします。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	書道授業概説	「書写」と「書道」との関連と違いについて。 墨、筆のできるまで。（ビデオなど）	提出作品 鑑賞ノートレポート
5月	楷書による学習	書体の変遷について理解する。 楷書体の書風の違いを考え、表現してみる。	出席状況 授業への取り組み
6月		用筆を習得する。半切画仙紙での臨書。	
	漢字かな交じりの書の学習	造像記を踏まえ、楽しい書の表現を体験する。	
7月			
	篆刻の学習	篆書の学習と氏名印の制作。	
8月			
9月	行書の学習	行書の成り立ちを理解する。 行書の用筆運筆法を習得する。	
10月		蘭亭序（王羲之について理解する。）	
		画仙紙での臨書。	
11月			
12月			
1月	かなの学習	仮名の成り立ちを理解し、基本的な用筆・運筆法の習得。 古典の臨書を通して、変体仮名に親しむ。	
2月			
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽Ⅱ	2	2	高校生の音楽2	自主教材プリント

到達目標	音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	(a) 歌唱表現　声域の拡張と豊かな発声、視唱力の充実、合唱における豊かな表現 (b) 器楽表現　クラシックギターの奏法の習熟、視奏力の充実、個性豊かな表現 (c)　創作　　歌詞の内容を生かした声楽曲の創作、楽器の特性を生かした器楽曲の創作 いろいろな音素材を生かした創作 生徒の主体的な授業への参加を重視する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	器楽① 合唱①	クラシックギターの奏法を深め、アンサンブル活動を通して表現の工夫をする 視奏力の充実を図る 混声四部合唱を体験し表現の幅を広げる 視唱力の充実を図る	実技考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	器楽② 合唱② 創作①	ギターの弾き語りを演奏することにより表現の工夫をする 大人数の合唱をホールで演奏する体験を通して合唱の醍醐味を味わう いろいろな音素材を使って自由な表現を試みる	
1月 2月 3月	合唱③ 演奏会を創る	アンサンブルを体験し、アレンジも含め表現の工夫をする 音楽Ⅰ・音楽Ⅱで学んだことを土台にしながら、グループアンサンブルに取り組み、豊かな表現の工夫をする	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅱ	2	2	高校美術２（日本文教出版）	美術　表現と技法 （日本文教出版）

到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	Ａ：表現について：①「絵画と彫刻」●自然、自己、社会などを見つめた課題テーマの表現●心豊かな表現の構想と様々な表現形式や材料と技法の活用●創造的な表現の追及②「デザイン」●生活を心豊かに創造する主題の生成●美的、効果的な表現の構想と材料、技法の活用●創造的な表現の追求と創意工夫。 Ｂ：鑑賞について：●作品や作者の個性などについての多様な見方●心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働き●時代、民族、風土などによる表現の相違や共通性と美術文化 ＊２学年の授業テーマとして、「表現力（強さ・明るさ・勢い）を培う」を設ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画Ａ－「校内風景」をモチーフとする絵画表現。 絵画Ｂ－「地図」から発想する絵画表現。 立体Ａ－「力」をテーマとする立体造形。 立体Ｂ－「贈り物を入れるパッケージ」を立体造形。 デザインＡ－「日本文化の紹介」をテーマとするグラフィック。 デザインＢ－「歩く」をテーマとする４枚１組のストーリー伝達	課題制作作品 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
7月	○鑑賞課題を芸術学の観点から実施する。	教科書Ｐ１６の作品を見て、①主題②色彩③構図等この作品の表現上の特色と美術的価値を記述する。	
8月 9月 10月 11月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。 ○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。大阪市立美術館で行われる「高校展」を鑑賞してその鑑賞レポートを提出する。 絵画Ａ－「坂道の自画像」をテーマとし、絵画表現する。 絵画Ｂ－「今朝の出来事」「私の町」のいずれかのテーマを自分自身と関連づけて絵画表現する。 立体Ａ－「柔らかい」をテーマに、立体表現する。 立体Ｂ－「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。 デザインＡ－「ＭＯＯＮ　ＬＩＧＨＴ」をテーマとするデザイン表現 デザインＢ－「環境問題」をテーマとするポスター作り。	
12月	○鑑賞課題を美術史の観点から実施する。 ○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	「日本画の明治・大正・昭和にかけての伝承と変革」をテーマにビデオ鑑賞し、理解する。 美術館や博物館、その展示会について知らせる。市役所のロビーで行う「美術授業作品展」を鑑賞して、その鑑賞レポートを提出する。	
1月 2月 3月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	作品の大小や制作時間数と作品の良し悪しは関係しないことを体験する。 絵画Ａ―鏡を手に持った自画像を描く 絵画Ｂ－「人と自然」「人と街」「人と機械」「人と公園」からテーマを一つ選びそれぞれを構成して絵画表現する。 立体Ａ－「上昇」をテーマとする立体表現。 立体Ｂ－「仮面」をテーマとする立体表現。 デザインＡ－「窓」と「旅人・夢・秋・写真」の中から二つ選んで、３つのことばから発想するイメージとその題名を構成する。 デザインＢ－自分の好きな事や好きな物をアピールするデザイン。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道Ⅱ	2	2	書Ⅱ（光村図書）	

到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を高め書の文化と伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・自己を表現する作品制作を多く取り入れます。毛筆の作品制作のみならず、拓本や木版での作品作り、また長条幅という長い画仙紙を宙づりにして書くというユニークな方法にも挑戦してもらいます。 ・一年からの小筆練習を続けます。　・硬筆練習

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	篆書の学習	文字の成り立ち、篆書体の用筆法について学ぶ。 篆書体で各自の好きな四字句を漢時代の瓦当文の構成で制作。	提出作品 鑑賞ノートレポート
5月	瓦当文の制作と拓本	上記作品を石膏ボードに刻し、拓本を採取、拓本の取り方を学ぶ。	出席状況 授業への取り組み
6月	硬筆	手紙・葉書・のし袋の書き方など、実用的な規範を学ぶ。	
	消しゴムハンコと	暑さ対策の為、クーラーのある図書館などで制作出来るものとして。	
7月	漢字仮名交じりの書		
8月	鏡へのサンドブラスト	自由な発想で作品制作	
	パネル制作	自分の作品をパネルに仕上げる。（裏打ちの方法など）	
9月			
	仮名制作	１年の学習を踏まえ、更に発展させる。	
10月			
11月			
	草書の学習	草書体について学習する。	
12月			
1月		王鐸の長条幅作品を画仙紙に臨書する。 王鐸が実際に行ったという宙吊りによる臨書での追体験 。	
2月		「書」の本格的な世界の一端を味わう。	
3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽Ⅲ	2	3	Joy of Music	自主教材プリント

到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	(a)歌唱表現　表現内容に応じた個性豊かな発声の工夫、独唱・重唱における充実した表現 (b) 器楽表現　表現内容に応じた個性豊かな奏法の工夫、合奏における充実した表現 生徒の主体的な授業への参加を重視する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	歌唱① 器楽①	発声の基礎を学習する イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲をそれぞれの言語で歌い、歌詞及び曲想を生かした個性的、創造的な表現をする ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスにわかれ基本的な奏方の習得に努め合奏をする	実技考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	歌唱② 器楽②	アンサンブルによる表現を工夫する グループによる編曲も工夫する 弦楽合奏を体験し、充実した表現が出来るようにする	
1月 2月 3月	器楽③歌唱③	演奏会形式で発表し個性豊かな表現の工夫をする	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅲ	2	3	高校美術３（日本文教出版）	美術　表現と技法 （日本文教出版）

到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	A：表現について：①「絵画と彫刻」●独創的な課題テーマの表現と表現形式の選択●個性を生かす創造的な表現の追及と創意工夫②「デザイン」●デザイン効果を考えた独創的な課題テーマの表現と表現方法の選択●個性を生かす創造的な表現の追及と創意工夫。 B：鑑賞について：●作者の生き方や主張と作品●美術が国際間の理解や協調に果たす役割●文化遺産としての美術の特色と文化遺産等の保存の意義。 ＊３学年の授業テーマとして、「芸術力（奥行き・幅・厚み）を培う」を設ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画Ａ－石膏デッサン「モリエール」。 絵画Ｂ－パット・パルマー原作の「おとなになる本」から文章を抜粋して、そこから発想するイメージを絵画表現する。 立体Ａ－「柔らかい」をテーマとする立体造形。 立体Ｂ－「贈り物を入れるパッケージ」をテーマとする立体造形。 デザインＡ－「ＭＯＯＮ　ＬＩＧＨＴ」の文字を配して一人の人物と月を主なモチーフとする平面デザイン。 デザインＢ－「歩く」をテーマとして４枚１組のストーリーを伝える	課題制作作品 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
7月	○鑑賞課題を芸術学の観点から実施する。	「名作とは何か」自分の考えを論述し発表する。	
8月 9月 10月 11月 12月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。 ○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。 ○鑑賞課題を美術史の観点から実施する。 ○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。大阪市立美術館で行われる「高校展」を鑑賞してその鑑賞レポートを提出する。 絵画Ａ－石膏デッサン「アマゾン像」。 絵画Ｂ－新聞の中から記事を選びそれをもとに鉛筆画を作る 立体Ａ－「力」をテーマに、立体表現する。 立体Ｂ－「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。 デザインＡ－「日本文化の紹介」をテーマとするグラフィック。 デザインＢ－「環境問題」をテーマとするポスター作り。 日本の江戸時代～明治にかけて西洋画とどう出会ったかをテーマとし、ビデオを見て理解する。 美術館や博物館、その展示会について知らせる。鑑賞レポートを作り提出する。市役所のロビーで行う「美術授業作品展」を鑑賞して、その鑑賞レポートを提出する。	
1月 2月 3月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画Ａ－鉛筆デッサン「静物画」 絵画Ｂ－「子供のころのなつかしい思い出」から発想し、絵画表現する。 立体Ａ－「上昇」をテーマとする立体表現。 立体Ｂ－「２１世紀のシンボル」をテーマとする立体表現。 デザインＡ－「風」「星」「森」の中から一つ選び、そのイメージとその選んだ文字を画面に構成する。 デザインＢ－構成要素の言葉から物語を作り絵コンテを作る	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道Ⅲ	2	3	書Ⅲ（教育図書）	

到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の文化や伝統を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	前半は、各自が関心のある古典作品を選び、その臨書に重点を置き、時間をかけしっかり書き込むことで校外のコンクールの入選・入賞をめざします。後半は、工芸的な作品と書表現とのコラボレーションを楽しみます。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	漢字の書	様々な古典を臨書し、書体、書風の違いを学習する。 半紙練習、画仙紙練習。 長条幅臨書に向け、臨書作品決定。（筆者、作品について、レポート）	提出作品 レポート 出席状況 授業への取り組み
8月 9月 10月 11月 12月	パネル作品 （漢字仮名交じりの書） 工芸的作品制作	文化祭出品作品の表具。 自分の世界を小さなパネルの中に表現することを工夫する。 草木染めの基本を学び、藍染のれんに自己の書表現を生かす。	
1月 2月 3月			

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	1	LANDMARK English Communication Ⅰ	予習ノート ワークブック

到達目標	＊英語を読んで、基本的な英文法能力を元に、内容を理解する能力を伸ばす事。 ＊様々な話題を通して、国際的な感覚や深い教養、人権意識を身に着ける事。 ＊発音記号が読めるだけでなく、正しい音を身につけること。 ＊得られた言語能力を活用して積極的にコミュニケーション活動を図ろうとする態度を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	・読む・書く・話す・聞く、４技能の言語活動を総合的に展開する。 ・分からない単語を辞書で調べさせ、本文の大体の意味を調べてくる事を予習として徹底させる。 また、授業中においては必要事項は生徒自らメモを取り、自ら調べる態度を養う。 ・新出の単語・文法事項を中心とした重要な言語材料の理解と定着を図る。 ・訳読だけでなく、音声による内容把握にも努める。 ・ALT と日本人教員とのチーム・ティーチングできめ細かい指導を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4 月 5 月 6 月 7 月	L1 What Can Blood Type Tell us? L2 Curry Travels around the world L3 “gr8” or great? L4 Gorillas and Humans Reading 1	・動名詞、動名詞 ・一人の高校生の手紙を通して、平和の達成に高校生がどのように考えているかを知る。 ・血液型性格診断について ・分詞の後置修飾、現在完了形 ・カレーの歴史について ・関係代名詞、Ｓ＋Ｖ＋疑問詞節、Ｓ＋Ｖ＋Ｏ＋疑問詞節 ・英語の省略語や顔文字について ・seem の用法、現在完了進行形 ・ゴリラの生態について ・A Miracle of Mermaids （夏休みの宿題）	定期考査 出席状況 授業への取り組み 小テスト 宿題・提出物など
8･9 月 10 月 11 月 12 月	L5 Biodiesel Adventure L6 The Doctor with the Hands of God L7 Eco-tour in Yakushima L8 The Mother of Women’s Judo	・過去完了形、使役動詞＋Ｏ＋動詞の原形 ・報道写真家の山田周生さんがバイオディーゼル燃料を用いた車で世界各国を回った旅行記について ・It～that の形式主語構文、知覚動詞＋Ｏ＋動詞の原形／現在分詞 ・「神の手」を持つとされる福島孝徳医師について ・前置詞＋関係代名詞／関係副詞 ・屋久島におけるエコツアーについて ・分詞構文、関係代名詞 what ・女子柔道の母と呼ばれるアメリカ人のラスティさんについて	
1 月 2 月	L9 Space Elevator L10 Friendship over Time Reading 2	・倍数比較、仮定法過去 ・宇宙エレベータについて ・関係代名詞の継続用法、仮定法過去完了 ・日本とトルコの交流について ・The Freedom Writers Diary （春休みの宿題）	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	英語表現　Ⅰ	2	1	NEW FAVORITE English Expression Ⅰ	アトラス総合英語、English Grammar Compass in 23 Lessons

到達目標	＊設定された場面における適切な英語の表現力を養う。 ＊コミュニケーションの基礎となる文法力をつける。 ＊得られた言語能力を活用して積極的にコミュニケーション活動を図ろうとする態度を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	・英語にたくさん触れさせることで「英語で考える」習慣をつけさせ、「書く」「話す」能力を高める ・副教材も使用しながら、構文・文法力を育む ・分からない単語を辞書で調べさせ、与えられた問題をまず自分で解いてくることを予習として徹底させる。 また、授業中においては必要事項は生徒自らメモを取り、自ら調べる態度を養う。 ・新出の単語・文法事項を中心とした重要な言語材料の理解と定着を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	**Lesson 1・2** **Lesson 3・4・5** **Lesson 6・7・8** **Lesson 9・10** **Lesson 11** **Lesson 12・13・14** **Lesson 15・16・17** **Lesson 18・19・20**	**[表現内容]**・自己紹介、電話 **[文法事項]**・動詞と文構造 **[表現内容]**・手紙、インタビュー、予定説明 **[文法事項]**・動詞と時制 **[表現内容]**・ショートスピーチ、Ｅメール、ブログ **[文法事項]**・完了形、助動詞 **[表現内容]**・実況中継、文化の紹介 **[文法事項]**・助動詞、受け身 **[表現内容]**・広告 **[文法事項]**・不定詞 **[表現内容]**・漫画、レシピ、招待状 **[文法事項]**・動名詞、分詞 **[表現内容]**・学校新聞、取扱説明書、ガイドブック **[文法事項]**・知覚動詞、使役動詞、関係副詞 **[表現内容]**・新聞記事、講演、ニュースレポート **[文法事項]**・関係代名詞、関係副詞、接続語句	定期考査 出席状況 授業への取り組み 小テスト 宿題・提出物など
1月 2月	**Lesson 21・22・23** **Lesson 24・25**	**[表現内容]**・スピーチ、インタビュー、プレゼンテーション **[文法事項]**・仮定法、比較 **[表現内容]**・パンフレット、ディスカッション **[文法事項]**・比較、時制の一致と話法	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	英語Ⅱ	4	2	『PRO-VISION English CourseⅡ』	『これで読める!英語構文 110』 『英文法ワークショップ』 『Grammar Gym Vol.1～3』 『Word Navi 3000 単語・熟語』

到達目標	・英語Ⅰの読解力・文法力・語彙力を元に、さらに発展的な力を身につけ、一段階難しい英文を読んで、その内容を理解する能力を伸ばす。 ・様々な話題を通して、国際的な感覚や深い教養を身につける。 ・４技能の言語活動を通じて、総合的なコミュニケーション能力を高めていく。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・新出の単語・文法事項を中心とした、重要な言語材料の理解と定着を図る。 ・予習の習慣を身につけさせることにより、初めて読む文章を読解する力をつけさせる。 ・構文の副教材を活用し、読解の基礎となる構文力をつけさせる。 ・教科書の音声教材や副教材を活用し、リスニング力の向上を図る。 ・文法の副教材を活用し、文法力とともに構文力も向上させる。 ・副教材の単語集を活用して、語彙力の増強を図る。

月	単元・教材名		指導内容	評価方法
	PRO-VISION	英語構造１１０		
4月	Lesson 1 Go Armstrong	ＳＶＯＣの研究	・関係代名詞の非制限用法	
5月		基本文型の理解	・関係副詞の非制限用法、同格の that、	
6月	Lesson 2 Tuvalu-Disappearing Islands	ＳＶＯ＋不定詞・分詞等	・受け身の進行形、無生物主語の構文、	
7月	Lesson 3 Sugar on your Table	動詞のとらえ方		
8月	Lesson 4 The World of Moomin-troll	形容詞的修飾の研究	・分詞構文、動名詞	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物 小テスト
9月				
10月	Lesson 5 The Beech Tree	形容詞・分詞・不定詞・前置詞による修飾 関係詞による修飾	・文修飾の副詞、仮定法、 It is 形容詞＋of～＋to 不定詞	
11月	Lesson 6 A Man Who Saved the World	副詞的修飾の研究		
12月		不定詞・分詞が導く副詞句	・be＋to 不定詞、 完了形の分詞構文	
1月	Lesson 7 World Englishes	等位関係の研究 and/or/but の用法	・will＋be～ing(未来進行形)、 仮定法-if のない仮定法	
2月	Lesson 8 Finding the Real Santa Claus	that 節の研究	・未来完了、結果を表す不定詞 仮定法-as if＋仮定法	
3月				

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	ライティング	2	2	『ELEMENT ENGLISH WRITING』	『フォーカスファインダー英文法・語法問題』

到達目標	・構文・文法的に正確な英文を書く。 ・日本語の表現にとらわれず、英語の論理に合った文の組み立て方や自然な表現を学ぶ。 ・様々な場面でよく使われる英語表現を学び、コミュニケーションに活用できるようにする。 ・自分の考えを英語で表現できる能力を養う。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・教科書の基本例文を中心にできるだけ多くの英文を暗唱し、応用できるように演習させる。 ・予習の習慣を身につけさせ、英語の論理に合った文の組み立て方をすることに慣れさせる。 ・様々なテーマの自由英作文を課し、自分の考えを英語で表現できる能力を養う。 ・副教材の英文法・語法問題集を活用して語法力の増強を図る。

月	単元・教材名		指導内容	評価方法
	教科書	**自由英作文**		
4月 5月 6月 7月	Lesson 1　ニュージーランドより Lesson 2　名前を漢字で Lesson 3　バンドメンバー募集中 Lesson 4　気になる彼 Lesson 5　歓迎パーティー Lesson 6　スタジオツアーはどうだった？ Lesson 7　ボランティア活動 Lesson 8　エマはいますか?	自己紹介 学校紹介 クラブ活動 日本文化の紹介	・基本文型 ・基本時制 ・進行形 ・現在完了 ・過去完了 ・未来完了 ・受動態	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物 小テスト
8月 9月 10月 11月 12月	Lesson 9　私の好きなタレント Lesson 10　彼はスペインリーグ Lesson 11　能を体験 Lesson 12　ホストファミリー Lesson 13　永遠のスター Lesson 14　おすすめの映画 Lesson 15　新しい家ができると Lesson 16　チャイって？	環境問題 ボランティア 修学旅行 自分の町の紹介	・助動詞 ・to-不定詞 ・動名詞 ・分詞 ・分詞構文 ・関係代名詞 ・関係副詞	
1月 2月 3月	Lesson 17　初めてのイタリア旅行 Lesson 18　転ばぬ先の・・・ Lesson 19　おいしいパスタの店 Lesson 20　カナダ人の先生 Lesson 21　世界に広がる英語	友人 趣味 将来の夢	・仮定法 ・it を含む構文 ・強調	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	リーディング	4	3	BIG DIPPER Reading Course (数研)	精選英文法・語法問題700 (いいずな) ｾﾝﾀｰ対策ﾘｽﾆﾝｸﾞ(10+30)(啓林館) Next Stage Winning Spirit(桐原)

到達目標	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を伸ばす。また様々な英文の題材を通してグローバルな視野を育てていく。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	・スラッシュリーディングを使った速読法＋音読とリスニングで英文理解を深める。 ・演習問題による内容理解力の向上。 ・副教材を活用し、文法・語法力、リスニング力も強化する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	【教科書BIG DIPPER】 Lesson1 必要な情報を読み取る Lesson2 文を意味のまとまりで区切る Lessno3 辞書から正しい意味を選ぶ Lesson4 表現の言い換えに注意する Lesson5 文中より例を見つける Lesson6 時系列をたどって読む	【教科書BIG DIPPER】 ・フレーズ・リーディング、推測・予測、スキミング、スキャニングというリーディング・スキルの基礎技術を身に付け、パラグラフ・リーディングを目指す。 ・比較的短い文章から中程度の長さの文でリーディングの基本を修得する練習。 ・生物、文化、芸術、科学等の話題に触れさせる。 【副読本：ｾﾝﾀｰ対策ﾘｽﾆﾝｸﾞ】 ・週１回のペースで進めていく。 【副読本：精選英文法・語法問題700】 ・１、２年で学習した事項を確認しながら、文法項目別に演習形式で進めていき、文法力の強化を目指す。	定期考査 小テストなど
8月 9月 10月 11月 12月	Lesson7 因果関係を見つける Lesson8 主張の根拠を見つける Lesson9 対比を見つける Lesson10 譲歩を見つける Lesson11 ﾄﾋﾟｯｸ･ｾﾝﾃﾝｽを探す Lesson12 文章全体の構成をつかむ 【副読本ｾﾝﾀｰﾄﾞﾘﾙ英語】第１回～第１８回	【教科書BIG DIPPER】 ・１学期に修得した Reading Skill を用いて、比較的長いまとまった量の文章でパラグラフ・リーディングする練習を重ね、実践力を身につける。 ・パラグラフの構成を理解させる。 ・科学、生活、宇宙、食品、生物、健康、文化等の話題に触れさせる。 ・論説文、エッセイ、物語文等でリーディングスキルを磨く。 【副読本：Next Stage Winning Spirit】 ・ｱﾄﾗﾝﾀﾞﾑに並んだ文法・語法問題で実践力を養う。 【副読本：センタードリル英語】 ・演習を行う。	
1月	第１９回～第３０回	【副読本：Next Stage Winning Spirit】 ・ｱﾄﾗﾝﾀﾞﾑに並んだ文法・語法問題で実践力を養う。 【副読本：センタードリル英語】 ・演習を行う。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	ライティング	2	3	UNICORN ENGLISH WRITING （文英堂）	Evolution　現代入試長文読解演習 （桐原書店）

到達目標	・情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。一定の長さを持つ長文の読解力をつけること。そのために必要な英語力を身につけること。 ・英語の論理に合った首尾一貫した文章を書く。伝えたい内容に合った効果的な文の組み立て方を学習することをねらいとする。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・２年では短文の和文英訳の演習を中心に行ったが、それを基礎にして３年ではパラグラフ・ライティングの演習を中心に行う。いくつかの文章を組み合わせて、まとまった内容を伝える技術を身に付けさせる。 ・２年に引き続き、自由英作文の演習も入れていく。 ・副教材を使って長文読解の演習も行う。

月	単元・教材名		指導内容		評価方法
	【教科書】	【副読本】	【教科書】	【副教材】	
4月	Lesson 22	Chapter 1	・世界で活躍する日本人	・文化・歴史	
5月	Lesson 23	Chapter 2	・ごみとリサイクル	・人物・人生	
6月	Lesson 24	Chapter 3	・ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ･ﾃﾞｻﾞｲﾝ	・現代社会	
7月	Lesson 25	Chapter 4	・マンガの日米比較	・文化・歴史	
		Chapter 5		・身体・健康	
		Chapter 6		・文化・歴史	
		Chapter 7		・人物・人生	
		Chapter 8		・文化・歴史	定期考査に平常の取り組み状況（授業中の態度、課題の提出、小テストの成績）等を加味し、総合的に評価する。
8月	Lesson 26	Chapter 9	・ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽ･ｽﾄｱ	・身体・健康	
9月	Lesson 27	Chapter 10	・ｼﾝﾌﾟﾙ･ｷｯｷﾝｸﾞ	・自然・科学	
10月	Lesson 28	Chapter 11	・選挙権は何歳から？	・言語・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	
11月	ｴｯｾｰ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(1)	Chapter 12	・修学旅行	・身体・健康	
12月		Chapter 13		・現代社会	
		Chapter 14		・自然・科学	
		Chapter 15		・言語・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	
		Chapter 16		・現代社会	
		Chapter 17		・身体・健康	
		Chapter 18		・文化・歴史	
1月	ｴｯｾｰ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(2) 要約文を書く	Chapter 19	・将来について	・言語・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	
		Chapter 20	・環境問題	・自然・科学	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
家　庭	家庭基礎	2	1年	家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 実教出版	ニュービジュアル家庭科 資料＋成分表２０１３ 実教出版

到達目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を身につける。
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・　「生活の科学と文化」という視点から、総合的な考え方・取り組み方を身につける。 ・　「生涯発達」の視点で、家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえる。 男女共同参画社会・少子高齢社会・消費行動・環境問題・食に関する学習の充実等に重点を置く。 ・　生活の中で課題を見いだし、それを解決するための手段を考えるとともに、次の実践へつなげる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	人の一生と家族・福祉	人生を見つめる ・　人生の目標、職業生活と家庭生活、生活時間やライフステージの特徴と課題について理解させ、男女が協力して家庭を築くことの意義や、家族と家庭生活の在り方ついて考えさせる。 ・　乳幼児の発達と保育・福祉について理解させる。子どもを生み育てることの意義、子どもの健全な発達のために親や家族及び社会の果たす役割を認識させる。 ・　高齢者の心身の特徴・生活・福祉について理解させ、高齢者の自立生活を支える家族や地域社会の果たす役割を認識させる。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	家族の生活と健康	生活を営む力をつける ・　被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。 ・　栄養、食品、調理、食品衛生などについての基礎的な知識と技術を習得させ、家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする ・　住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。	
1月 2月 3月	消費生活	消費者として自立する ・　家庭の経済生活、消費者の権利と責任について基礎的な知識を習得させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。 ・　現代の消費生活と環境とのかかわりについて理解させ、環境負荷の少ない生活を目指して生活を見直すことができるようにする。	

平成２５年度　指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
情報	情報B	2	2	最新　情報B（実教出版）	なし

到達目標	・ 自ら課題を見つけ，判断・行動し，解決する能力を身につける. ・ 情報を活用する能力を身につける. ・ 情報についての科学的な理解を深める. ・ 情報社会の中での自らの生き方を考える
到達目標に向けての 具体的な取組 （指導上の留意点）	・実習によって講義内容を体感させ，理解の浸透を図る. ・授業記録ノートを書かせることによって，自ら課題を見つけ，判断・行動し，解決する能力を身につけさせる一助とすることをめざす. ・授業中の問いかけや，作文を課すことなどにより，情報社会の中での自らの生き方を考えさせる契機とする

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	情報デザイン	・情報デザイン ・ピクトグラム	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	情報のディジタル表現	・情報のディジタル表現	
6月			
7月			
8月	XHTML	・XHTMML による Web ページ作成	
9月		・アルゴリズム	
	シミュレーション	・シミュレーション	
10月	アルゴリズム	・ソフトウェア	
	ソフトウェアとハードウェア	・ハードウェア	
11月	コンピュータネットワーク	・コンピュータネットワーク	
12月			
1月	情報技術と社会	・著作権 ・コンピュータセキュリティ	
2月		・IT がひらく情報社会	
3月			